

# HOYOG 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
〔編集〕教区基推委広報部

1988.10.15号

〔現代人の宗教意識〕を説く大村英昭・大阪大教授  
(本山伝道院で開かれた青年僧侶研修会)



「現代人の宗教意識」を説く大村英昭・大阪大教授  
(本山伝道院で開かれた青年僧侶研修会)

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
〔編集〕教区基推委広報部

兵庫教区青年僧侶の会の一泊研修会が京都で九月十二・十三日の二日間にわたって開催された。一日目は本山伝道院で研修会。大村英昭・大阪大教授に講演を

いただいた。今年六月に神戸で行われた青年僧侶十周年記念シンポジウムでの先生のお話しの続きをどうして聞きたいとの声もあって、伝道院まで押しかけること

となったもの。テーマは「現代人の宗教意識と浄土真宗」で、以前から先生が提唱されている現場における真宗数学の構築についてであった。中味

「私達、現場において実践している念仏者いわゆる教化者としての僧侶のあるべき姿とは、具体的にどういふものか、またどうあるべきなのかというところである。われわれは一念仏者と

大村先生の熱弁に思わずひき込まれた二時間。終了後、河原町に向き懇親会となったが、その席において、この講演が話題となり、宿泊のグランドホテルへ行っても、夜遅くまで話し合いをしていた部屋もあったとか。

二日目は、会員の車に分かれて奈良シルクロード博覧会の見学、午後五時神戸別院で散会。有意義な二日間であったと会員の声。

## 「プロ教化者の生き方問う」

青年僧侶の会が一泊研修

「私達、現場において実践している念仏者いわゆる教化者としての僧侶のあるべき姿とは、具体的にどういふものか、またどうあるべきなのかというところである。われわれは一念仏者と

二十一世紀は心の時代ともいわれる。なぜ心の時代ととりあげるのか。今、物質文明の発達はまだに驚嘆にあたいする。物にあふれ、金銭の流動は煩悩具足の凡夫の欲望をますます高めるとまるところを知らず。一面著しい科学技術の進展にともない、危惧不安の念も増大し、物・形だけでは解決できぬもののあることを考える。かかる時、生老病死という現実の上になつて、尊の教え、その尊さを改めて深くかみしめ味わねばならぬのではなからうか。仏法の本旨を見失い、形式のみの葬式、お経配達業、靈感商法的な行為の横行する昨今、縁をえて浄土真宗の流れをくむわれら僧侶が、祖師聖人の歩まれた道を、現代に生かしてゆくことこそ、心の時代への歩みと思われ



刻一刻休むことなく時は過ぎゆく。あと十二年、いやでも二十一世紀を迎える。

## 教区だより

10月

1日(土)~2日(日)	近畿ブロック仏青研修会	和歌山	14日(金)	常備会	10時半	
2日(日)	門徒推進員連絡協議会研修会	摂摩西組一行寺	14日(金)~16日(日)	別院常例	岡本幸信師(神戸中組極楽寺)	1時半
4日(火)	総代ブロック研修(姫路・西播)	姫路西組本徳寺	19日(水)	近畿地区仏婦大会	大阪府立体育館	
5日(水)	婦30周年記念大会 企画部会	10時半	20日(木)	教区会	10時半	
6日(木)	記念事業推進の集い	午後2時	23日(日)	仏壮理事会	10時半	
7日(金)	別院仏婦永代経	松本龍円師(氷上東組明光寺)	25日(火)	総代ブロック研修(但馬)	10時半	豊岡教堂
11日(火)	青年僧侶の会聞法大会	1時半	26日(水)	総代ブロック研修(丹波)	10時半	多紀組光専寺
12日(水)	総代ブロック研修(阪神・神戸)	10時半	26日(水)~27日(木)	近畿所長・議長会議	岡山・玉野	
			28日(金)	第一期寺婦連続学習会(二回目)	10時半	
			31日(月)~1日(火)	職員一泊研修会	岡山	

## 悩みを語り合う 近畿寺婦の研修

◆8月26日 近畿同推総会・研修会。滋賀県大津市で近畿六教区より八十一人、研修会には門徒推進員も加わり、教団の取り組んで来た同朋運動の歩みに、きびしい意見など出された。◆27日 東西真宗保育研修会。網干組本願寺、網干保育園にて、大谷派からの参加も含め園長・保母さんら七十二人、公開保育や講義、仏参と内容のある研修会でした。◆28日 姫路西組本徳寺で仏壮ブロック別研修会。姫路、西播から百七十人、講師は山崎一朗師(出石組正福寺)。



◆9月1日 全国寺族青年野球大会を滋賀県守山球場で開催、兵庫教区は残念ながら一回戦で長野教区のチームに、六対五の一点差で惜敗。◆1日 門徒推進員役員会、十月二日の協議会に向けて、◆2日 別院で広報部会、なんと各お寺からの情報を集めたいとの思いあり。◆5日 教区基幹運動推進委員会。出席二十七人、◆6日 勤式練習を別院で、

講師は光森龍樹師(神明組安養寺)。今回は讃仏律曲でした。この時はばかりは職員も冷汗。

◆7日 別院仏婦常例、講師は多田満之師(赤穂北組西光寺)。また来てくださいますよ。◆8日 神戸市垂水区の舞子ビラにて第五回近畿ブロック寺族婦人研修会。六教区より二百二十七人、い

ない、占いにこつている人が多い。「新興宗教や迷信に對してどうすべきか」など。

## 寺報から

### ハイフムーン旅行

◆7月31日~8月1日 下呂温泉その他。例年通り家族で海水浴にと思っていたら、子供らは部活、アルバイト、総体の手伝い、と無視される。結局、23年ぶりにフルムーン? ハイフムーンとでも名

美しい読みやすい教区新報になり、親しみを感じます。イラストやカット・写真の掲載も工夫され、新しい感覚が伝わってきます。(北摂組正覚寺・光森宣明)

## 教区新報へ

親しみを感じる

教区新報を八月からイメ・チェンしましたが、それについての感想をいただき、各寺からもご意見をお寄せ下さい。

美しい読みやすい教区新報になり、親しみを感じます。イラストやカット・写真の掲載も工夫され、新しい感覚が伝わってきます。(北摂組正覚寺・光森宣明) もっと各組・各寺のニュースを盛り込んで下さい。本堂修復とか、若い坊守さんを迎えたとか、アット・テンブル的な紙面を。(阪神西組兼誓寺・菅義仙)

(神戸・照光寺)

「鬼塚だより」

紀野一義の本が読みたくなった。

(山頭火)

付けるか。円空が真宗から修験道に墮していった理由は何かを考える。木曾路の気候、風土そして人情(あまり好きになれなかった)が関係していると思う。種田山頭火や尾崎放哉も、かの地に縁があったのではなからうか。分け入っても分け入っても青い山

# 彼岸の法話

## 聴聞はいのちがけ

葦原 正春

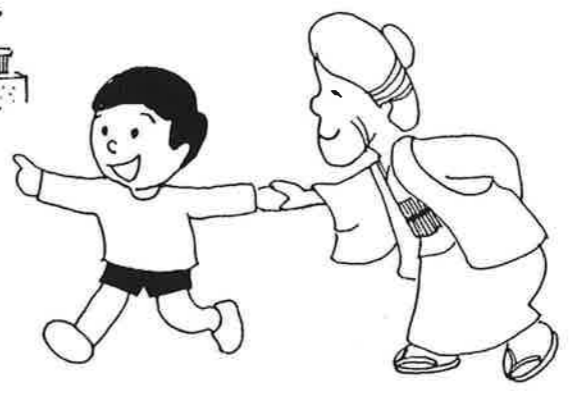
本願寺第八代の法灯を継がれた蓮如上人が、  
「来年の報恩講をも期しがなき身」とお寄せ  
られました。今年も露のいのちを恵まれて、  
報恩講を迎えさせていただきます。報恩講  
によりありがたいこととございます。報恩講  
の由来をたづねますと、歴史は遠く七百年の  
昔にさかのぼります。

本願寺第三代の法灯を継がれた覚如上人が、  
二十五歳、永仁二年(一二九四)に宗祖聖人  
の三十三回忌を迎えるにあたり、仏祖の恩  
をしのべながら報恩講式を作られ、それを  
仏祖のおん前で拝読されて、報恩感謝のまこ  
とをささげられたのが、報恩講のおこりであ  
るといわれます。

それから今日に至るまで、年々歳々に報恩  
講がつとめられ、今年も六百九十四回目の報  
恩講を迎えることとなります。

報恩講になりますと浄土真宗に流れをくむ  
者にとりましては、親鸞聖人が、ひとしお懐  
しくしのばれるのではないのでしょうか。

聖人は幼くしてご両親をうしなわれ、そ  
れが動機となって九歳の春のころ、京都東山  
青蓮院の慈鎮和尚を戒師として、出家得度さ



本願寺「カット集」から

たすらに学問と修行をつまれましたが、二十  
年にわたる学問修行によって体験されたもの  
は、人間はどれほど学問をし修行をして智慧  
をみがいても、自分の力で愛欲と煩惱を断ち  
切ることは不可能である、ということでした。  
それはタドンほど磨いても、白くなら  
ないようなものである、と気づかれました。

そうした愛欲と煩惱に身も心もどつぷりと  
つかって、生死いづる道の閉ざされた煩惱具  
足の凡夫の救われる道を求めて、六角堂へ百  
日のおこもりとなり、救世観音菩薩のおみち  
びきによって、法然上人の門をたたかれたの  
が、二十九歳のときでありました。

法然上人の門をたたかれた親鸞聖人は、百  
日のご教化にあわれたと伝えられますが、そ  
の聴聞の態度はどのようなものであったかと  
申しますと、前裏方大谷嬉子さまの著わされ  
た「恵信尼公の生涯」の中から恵信尼文書の  
第三通の意訳を引用させていただきますと、  
「雨の降る日も晴れた日も、どのように、た  
いへんなお差し支えのあるときでも、上人の  
もとへお通いになって後世のたすかる道につ  
いて聴聞を重ねられた」と示されてあります。

わたくしは、このご文を通して仏法聴聞は  
いのちがけでなければならぬ、と教えられ  
ることでございます。

ところで、法然上人のご教化とはどのよう  
なものでしょうか。要約いたしますと「阿弥  
陀如来は、すべての人々の生死の苦悩を除い  
て下さるために万善万行の功德利益を、南無

師主知識の恩徳も  
ほねをくだきても謝すべし」



とお示しになります。  
この親鸞聖人のよろこびと感動が、私の心  
に光りとなり温もりとなって、うけとめられ  
ていることでありましょうか。それを自らの  
心に問いをもたせていただきますことが、報  
恩講を迎える心ではないのでしょうか。私はそ  
のように味わうことでございます。  
「南無阿弥陀もろうたままですておかず  
出してよろこべ何につけても」(先師)  
(氷上東組西現寺)

## 今、お寺で

### 門徒推進員としての 小さな私の動き

私が門徒推進員としてお  
世話させていただいている  
核は慈念会です。慈念会は  
一行寺門徒の連研修了者で  
構成し、私達門徒の責務で  
ある聞法、伝道をねらいと  
したグループで、ご法義を  
喜び、味わい、実践して、  
念仏者として強く、明るく、  
正しい人間づくりをめざし  
ているメンバーの集まりで  
す。私はこのような中で育  
ていただき、お世話をさ  
せてもらっています。

聞法と伝道について「こ  
んな難かしいこと、特に私  
が伝道なんておこがましい」  
と言うことをよく聞くので  
すが、私はその都度、親鸞  
聖人は教行信証の中で「聞  
く所を慶び、獲る所を嘆ず  
る」と述べられています。  
言い換えれば「聞かされ  
ば良いも悪いも、喜びも悲  
しみもない。法を聞くこと  
により喜び、讃嘆すること  
が出来るのです。その歓喜  
を自分だけにとどめず、一

人でも多くの人に伝え、そ  
の喜び(ご法義)を味わっ  
ていただき、身で受入れ、  
実践することが聞法であり、  
伝道ではないのですか」と  
お話をさせてもらっていま  
す。  
私が今年一月より参加し、  
お世話をさせていただいた  
主たるものを列挙しますと、  
一、慈念会常例(毎月)  
二、揖保町仏教壮年会  
(二カ月に一回)  
三、一行寺寺報の編集と  
発行 (年二回)  
四、一行寺連研修了者同  
朋研修会 (七月)  
五、一行寺念仏奉仕団  
(九月)  
六、その他  
一行寺、教区、  
本山関係の諸会  
議、行事

### 教区基推委に委嘱状

相談員・学識経験者の56人

- 本義孝▽佐々木智見(副会  
長)▽藤田真哲▽藤栄行信  
▽森田智▽小松修道▽水杉  
達昭▽井上朋義▽輝峻純之  
▽藤本和人▽竹中昭英▽谷  
川秀一▽秦克和▽中島教勝  
▽高坂龍司▽大内憲英(副  
会長)▽多田寛円▽木下義  
昭(常任)▽赤松義誼▽渡  
辺義学▽増井浄見▽丸岡了  
信▽亀岡周明▽松島法城(副  
会長)▽西山實圓▽森本正  
濤▽前田徳水(常任)▽岩  
田和順▽西池哲俊(常任)  
▽小玉大誠▽楠正則▽白井  
恵眼▽久堀弘義▽杉本昭典  
▽光森宣明▽山本宣昭▽藤  
野昌俊▽谷川秀城▽和田智  
浄▽赤松賢秀▽山崎一朗▽  
谷川弘顕▽鷲尾衛鳳▽高崎  
長英▽赤松義光▽和田宏之  
▽竹内俊之▽西脇修▽応供  
乗生